

会議名	第2回高齢者福祉計画検討委員会
日時・場所	令和5年10月18日(水)14時~14時45分 オンライン開催(Zoom) + 豊橋市役所 東館3階 福祉部会議室
出席者	【委員】 市民・関係団体委員7名(欠席者2名) 【事務局】 長寿介護課職員5名
<p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 策定スケジュール 2. 第9期豊橋市高齢者福祉計画 目次 3. 第8期豊橋市高齢者福祉計画中間報告(第1~4章) 4. 第9期豊橋市高齢者福祉計画実施計画(第5章) <p>【意見等】</p> <p><次第4></p> <p>委員：P58のリード文に「ミドル世代などの早い段階から第二の人生を見据えた人生設計や人生最期の生き方を考える機会」とあるが、具体的には何をするのか。</p> <p>事務局：エンディングサポート事業における講座において、40代以降の早い段階から先を見据えて人生設計をすると良いという内容で開催している。こういった講座を広く周知し、受講を促していきたいと考えている。</p> <p>委員：P52にてICTを活用したフレイル予防とあるが、デジタルデバイドは難しい問題。アプリの使い方は、高齢者を対象にレクチャーする場を設けるといふことか。</p> <p>事務局：みんなチャレというアプリの中でチャット形式のような機能や写真を撮って交流するといった機能があるため、最初の段階で写真の撮り方・保存のやり方、メッセージの送り方などをスマホ講座のような形で実施する。その上でアプリを使って交流を図りながらスマホの使い方に慣れていただくという部分でデジタルデバイド対策になるように進めていくことを考えている。</p> <p>委員：P57の施策番号1-8と1-11において「家族交流会」という言葉がそれぞれ出てくるが、この違いを伺いたい。</p> <p>事務局：認知症のご本人やご家族がピアサポートのような形で参加いただきながら交流する場を設置し、ご本人が必要とする支援について聞く機会を設けるのが1-8における交流会。1-11は、月に1回3カ所の圏域にて認知症地域支援推進員に依頼して実施している、家族交流会と市が実施している家族支援講座を想定している。</p> <p>委員：1-8の方は新しい施策ではなく、既にやっているものか。</p> <p>事務局：既にやっている。</p> <p>委員：ACPはこれから大事になってくると思うが、独居の高齢者のACP、例えば自宅で過ごしたいなど、実際問題独居の方を自宅で看取れるのか。看取る場合はケア</p>	

プランを始めとしたいろいろな対策が必要。末期になってやはり自宅での看取りが難しくとなると、一般の方は入院を希望する。入院すると24時間点滴から始まり、ACPとは違う方向に向かってしまう。病院の中で何もせずに看取るということはできない。そうなったときにどこか施設に入居を希望してもすぐには入れない。入れたとしても利用料を払えないなどといった方に遭遇することがある。そこに対する市としての考えはあるか。

事務局：その方の金銭や家族の状況によっても変わってくるためケースバイケース。そういったケースの方に今すぐ何らかの考えを示すことは難しい。

委員：これからはそこを考えていかないといけない。本日の説明であったように高齢者のフレイルを防ぎ、介護度が上がらないよう少しでも良い方向に向かうよういろいろなサービスを考えて進めていっても、どこかで限界が来る。これ以上、状況が良くならない、食事も摂れないとなったときに、みんな病院で24時間点滴をするのかと言うと、もちろん希望する人もいるが、希望しない人もいる。そういう方を最期は自宅や看取りの施設で看取るといったことを考えていかないといけない。エンディングサポート講座を受けて、最期は自然に看取ってもらうことを希望する方が増えてきたときに、どうするのか。これまで議論が避けられてきたような気もするが、これからは避けて通れなくなる。看取りということをもっと考えていくべきだと思う。

委員：P52の健康づくりのための体操や研修について、こちらは口腔の体操も含まれているということか。

事務局：P51の1-1介護予防教室の中で実施する予定。

委員：指導者が必要ということであれば、依頼いただければ協力させていただく。

(その他、意見等なし。14時45分ごろ終了。)